



あらかき こうき
新垣 虹希ちゃん(0歳) 牧港在



さきはら ゆりあ
崎原 夢莉亜ちゃん(0歳) 伊祖在



さめしま あつき
鮫島 忠来ちゃん(0歳) 経塚在



しまぶくろ あつひろ
島袋 豊寛ちゃん(0歳) 港川在



ほし れあ
星 怜杏ちゃん(1歳) 城間在



すぎき ゆりな
須崎 由梨奈ちゃん(0歳) 牧港在



まき し ゆきひと
真喜志 倅人ちゃん(0歳) 安波茶在



みやざと
宮里 ここなちゃん(1歳) 仲間在



はやかわ みなぎ
早川 心渚ちゃん(4歳)
功晟ちゃん(0歳) 内間在



アンダーソン アンソニーちゃん(7歳)
ハーモニーちゃん(5歳) 宮城在



い え はるあき
伊江 春暁ちゃん(0歳) 城間在



上里 りみ
上里 莉未ちゃん
莉来ちゃん(0歳) 港川在



やぶく みゆ
屋比久 心結ちゃん(1歳) 西原在



みねい まさと
嶺井 政人ちゃん(1歳) 当山在



おおわん あさひ
大湾 朝輝ちゃん(1歳) 牧港在



たけとみ ここな
武富 心愛ちゃん(2歳)
萌愛ちゃん(0歳) 伊祖在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子ども氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)
一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎(876) 1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp



ジェレミー・エックスタイン
Jeremy Eckstein
2015年8月から国際交流員として、
浦添市役所国際交流課に配置される。
米国フィラデルフィア出身
原文・和訳:ジェレミー・エックスタイン

アメリカの愛国心

アメリカ人に「あなたは愛国主義者ですか?」と聞くと、圧倒的多数で「もちろん」と答えるはず。でも、日本人はどう答えるのでしょうか?もちろん、日本という国は好きでしょうが、日本人とアメリカ人では「愛国主義」という言葉に対する印象が違ってもいいかもしれません。今月は、外国から見る「アメリカの愛国心の強さ」について話したいと思います。

広報うらそえ1月号に「逆カルチャーショック」を紹介した記事で、自分の国の文化や習慣に対して違和感を覚えたことを説明し、いくつかの例をあげました。その記事を読み返してみたら、今月のテーマに関する逆カルチャーショックを思い浮かべました。それは、アメリカ人はアメリカの国旗が大好きだということです。アメリカでは、家の外に飾られている旗、洋服、帽子、下着にも縫い込んでいる星条旗、人の名刺に印刷されている国旗のデザイン、歌の歌詞になる旗、右を見ても、左を見てもアメリカの国旗があるような感じがします。国旗をあまり強調しない日本人から見ると、これはかなり変な状況かもしれませんが、アメリカという国を愛するのと同じように、身に着けたいと思うほど国旗を大事にしています。そういえば、プロスポーツの大会の前に必ず皆で歌うアメリカの国歌もそれほど大切に思われます。プロスポーツ試合(特に野球)にゲストパフォーマーとして国歌を歌いに呼ばれるのは大光栄であると考えられています。つまり、アメリカを代表するシンボルは同国の基本的価値や道徳も代表すると考えられます。

さて、なぜアメリカ人の愛国心はそんなに強いのか、この質問には一つの決定的な回答がないと思います。多くのアメリカ人は生まれ育った環境から強い愛国心を持つように教わりました。また、より良い生活を求めて他の国からアメリカに移住し、その後アメリカの国籍を取得して、正式にアメリカの国民になった上で、違う土地や違う事情や文化で生まれ育ってきたとしても、アメリカの国民として受け入れ、アメリカ人の一人として扱ってくれたアメリカという国を愛する人もいます。もちろん、「私は愛国主義者ではない」と言う人もいますが、そういう人はごくまれで、少ないと思います。

外国の方から見ると、アメリカ人の愛国心の強さはものすごく変だと思ひ、怖いほど強いと思う人もいられるかもしれません。ただし、「自分の国を基本的に愛する」という考え方で「私の国は私の国だから悪い行為をするはずがない」という考え方の間には相違があり、愛国主義と国家主義とを混同してはなりません。

American Patriotism

If you ask an American, "Are you a patriot?" the answer is likely to be, "Of course." But how might a Japanese person answer? Needless to say, Japanese people love their country, but I think the difference in response might be in how Japanese people and American people interpret the word, "patriotism". This month I would like to talk about how strong American patriotism might be viewed from the point of view of non-Americans.

In the article "Reverse Culture Shock" that I wrote for this year's January edition of Kouhou Urasoe, I explained how one might feel reverse culture shock, (a sense of discomfort with one's own culture and customs,) and gave some examples. On rereading that article, I remembered a particular feeling of reverse culture shock that has to do with this month's theme. That is, Americans love the American flag. In the States, there are flags hanging outside of houses, the stars and bars sewn into clothing, hats and underwear, flags printed on business cards and written into song lyrics; you start to feel like everywhere you look there's an American flag! I know that this might seem strange from the perspective of Japanese people who do not put so much emphasis on their own flag, but for Americans, wanting to wear the flag is synonymous with loving your country. In that same vein, the national anthem that is always sung before professional sports games, is considered to be just as important as the flag, and being invited as a guest performer to sing the national anthem before pro sports games (especially baseball) is thought to be a great honor.

Now, I don't think that there's one definitive answer to the question of why American patriotism is so strong. Many Americans have it ingrained into them from a young age due to being raised in environments with particularly strong patriotic values. Other Americans still might love America because they emigrated from another country in search of a better life. And even though they were born on different land and into a different culture and under different circumstances, they acquire American citizenship and in doing so officially become Americans and are treated just as any other American. Of course there are also people who will say that they do not consider themselves patriots, but I think that they are few and far between.

From the perspective of a non-American, American patriotism probably seems strange, and maybe even scary. But, there is a difference between loving the essential aspects of your country, and thinking, "I love my country and because of that my country can do no wrong." This is the difference between Patriotism and Nationalism, and it is important not to confuse these ideas.

文化課発信 うらそえー ありんくりん 第24回

～ 組踊を楽しむポイントは「想像力」 ～

(私は文化課の若松です。これから沖縄の伝統芸能「組踊」についてお話します。)

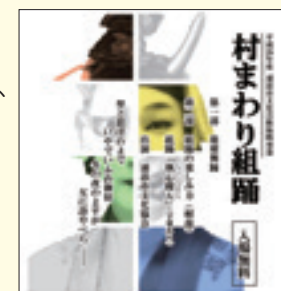
我身や文化課ぬ 若松どうやゆる

昔生まりたる 組踊ぬお話 くりから数々 みゅんぬきやびら

組踊風に唱え、はじめてみました。組踊は今から約300年前、お隣中国からおいでになる大切なお客さまをもてなすために、踊奉行・玉城朝薫によって創られた伝統芸能のひとつで、沖縄独自の歌舞劇または琉球版オペラといっても過言ではありません。

少し難しい印象のある組踊をより楽しめるよう、鑑賞ポイントをいくつかご紹介しましょう。演者はテーマソングで登場し、まず自己紹介、そして今後の予定を観客に説明します。派手な舞台装置はなく、舞台上を移動したり一巡することで場面転換を図り、リアルな演技は極力せず一定の型を用いて物語が進行していきます。この抑制された動きのなか、演者の喜怒哀楽を表現してくれるのが音楽です。「組踊を聴きに行く」と言われるほど、心情を奏でる地謡は大きな役割を担っています。組踊の大半はハッピーエンドで幕を閉じるのも特徴のひとつと言えるでしょう。このような約束事をおさえ、演技とあわせて後は「想像力」で楽しむことができるのです。

文化課では、各自治会をまわる「村まわり組踊」事業を展開中。詳細は、19ページをご覧ください。



問い合わせ 文化課 内線6211